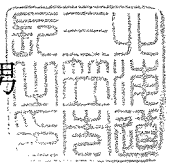


三 建 第 48 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

三笠市長 小 林 和 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より当市の行政運営に対しましてご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先に依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案」について別紙のとおり、回答しますので宜しくお願い致します。

国民生活における安心・安全の確保と北海道の優位なポテンシャルを生かす為の道路施策として、食料基地としての位置づけられる生産地と消費地、観光拠点間を結ぶネットワークを確立することや、地震や風水害など災害時の対応の為に交通手段の確保に不可欠な複線化が地域にとって重要な要素であり、道路は社会資本として、今後も整備を促進することが必要である。

- 道路のネットワーク化の充実
- バリアフリー等の交通安全対策の充実
- 恒久的な維持管理財源の確実な確保
- 費用対効果測定方法の見直しによる弾力的な運用

○現状

- ・ 地震・風水害等の災害時の孤立し、連絡に時間がかかる地区がある
- ・ 交通量の増加に伴う交通安全対策
- ・ 生産拠点から物流拠点（消費地、交通拠点）への連絡網の整備
- ・ 観光産業の育成や観光客の国際化に対応する環境整備

○課題

- ・ 幹線道路の複線化や橋梁等の耐震等の防災に対応する整備の促進
- ・ 山間部における緊急通信体制の整備（携帯電話等の不通地区の解消）
- ・ 交通事故の発生抑制のための安全施設と道路線形改良等の整備
- ・ 地域性を生かした生産物の消費地への連携化を促進する為のネットワークの充実
- ・ 地域観光開発と連携した施設のデザイン化
- ・ 外国人観光客に優しいサイン案内の充実

②-2地域の目指すべき将来像

地域の特性（位置、人口、産業特性、観光資源）を十分に生かせる道路整備を目指し、その効果を地域アピールの一助として地域発展と地域の活性化を図る。

- 道央に位置する特性を生かし、観光産業との連携した地域活性化
 - ・ 急カーブ、急勾配による交通事故対策
 - ・ 地域の観光開発と連携した施設デザインへの取組み

- 道北、道東と道央を結ぶ交通要衝として、物流等の産業に寄与する
 - ・ 高速道路、高規格道路、一般国道、主要道道等の連携での物流産業の育成

- 「住んでいて良かった」と思える交通安全対策と、地域間ネットワークの確立による社会弱者対策の充実
 - ・ 車社会での生活を前提とした交通安全対策の充実

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道 三笠市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
地域活力の向上	地域ネットワークの整備	観光施設の効果的な活用 地域連携を核とした総合的な地域活性化	地域計画（各自治体の計画）の把握と連携
交通安全対策の向上と危機管理の強化	地震・風水害に強い地域づくり 孤立地域の速やかな改善	災害時の確実な交通確保 路線の複線化による安心・安全の確保 通信体制確保	快適な生活を確保するアピールによる地域活力の向上
快適な暮らしの確保	自然環境と暮らしの調和の充実 バリアフリー社会の対応 教育・医療等の地域格差の解消	緊急搬送時の最短ルートの確保 弱者に優しい生活道路の充実	〃
維持管理水準の向上	維持管理財源の恒久的な確保	安定的な地域活性化の推進	〃